

自昭和十八年十二月十五日
至昭和十九年十一月三十日

15 Nov '43

30 Nov '43

海上護衛總司令部
抜萃

30戰時日誌
KEB

自昭和十八年十一月 至昭和十九年十一月

昭和十八年十一月防務研究所戰史室贈付

一 經過

(イ) 敵情

南東方面及内南洋方面ニ於ケル敵ノ反攻ハ愈々熾烈ヲ極メ十一月一日
 敵ハ「ボーゲンビル」島西岸「トロキナ」ニ有力部隊ヲ揚陸又十一月
 二十一日ギルバート諸島ノ「ダラワ」「マキン」ニモ上陸シ我ハ常ニ
 敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘツツアルモ戰況愈々急ヲ告グルニ至レリ一方
 我ガ補給線ニ對スル攻撃ハ右作戦ト關聯内南洋、南東方面、日本近
 海ニ其ノ主力ヲ指向シ其ノ出現數近來ニ無キ多ヲ示セリ又在支米空軍
 ハ漸次活潑ノ兆ヲ示シ遂ニ二十八日台灣海峽附近ニ飛來シ支那沿岸航
 路ニ對シ脅威ヲ加フルニ至レリ

(ロ) 我軍ノ情況

(一) 海上交通保護及對潛作戦強化ノ爲昭和十八年十一月十五日附東京ニ

海上護衛司令部設置セラレ第一、第二海上護衛隊ヲ直屬シ海上交通保護及對潛作戦ニ關シ各鎮守府各警備府（海南警備府ヲ除）司令長官ヲ指揮スルコトヲ同日海軍大學校ニ將旗ヲ掲揚セリ

十一月ニ於ケル敵潛ノ出現ハ大東亞艦開始以來ノ多數ヲ示シ數ニ與ヘタル損害數沈確實十四隻效果甚大十一隻ノ大戰果ヲ擧ゲタルモ我が船ノ被害亦極メテ大ニシテ開戦以來ノ數字ヲ示セリ即沈没二五、五万噸損傷一〇、四二万噸計三五、九二万噸ナリ

（參照）

- (1) 別圖本邦近海ニ於ケル十一月敵潛出現狀況
- (2) 各警備擔任部隊指定航路ト敵潛ニ依ル被害一覽圖
- (3) 十一月分對潛戰概況
- (4) 十一月分船舶被害竝ニ戰果表
- (5) 十一月分主要航路航隻數調

（任務、編制配備）

（任務）

擔任區域及擔任航路附近ニ於ケル海上交通ヲ防衛シ特ニ敵潛水艦ヲ封止壓滅シ交通線ノ安全ヲ確保シ海上輸送力ヲ増強ス

（）兵力部署（十一月十五日）

部		隊		兵力及機關	指		主要任務
海	上	海	上		指	官	
海上護衛總司令部	第一海上護衛隊	第一海上護衛隊	第二海上護衛隊	第一海上護衛隊	第一海上護衛司令部	一、擔任航路ノ海上交通保護	
橫須賀鎮守府	海上護衛隊	一、橫須賀鎮守府所屬海軍部及對潛兵力	二、除指ノ兵力及	二、海上護衛隊	二、橫須賀鎮守府司令長官	二、擔任區域及航路ノ海軍部及對潛兵力	
吳鎮守府海上護衛隊		二、吳鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力	三、（他部隊作）指	三、吳鎮守府司令長官	三、同	三、擔任區域及航路ノ海軍部及對潛兵力	右

總		衛		護	
海上護衛部隊	大湊警備府	海上護衛部隊	大阪警備府	海上護衛部隊	佐世保鎮守府
増機交大 機通湊 指關保警 下(他護備 ニ部及府 アル以對所 ルノ海兵 ヲ力上	同除指機交大 ク指關保警 右(他護備 ニ部及府 アル以對所 ルノ海兵 ヲ力上	同除指機交舞 ク指關通鎮 右(他護守 ニ部及府 アル以對所 ルノ海兵 ヲ力上	同除指機交舞 ク指關通鎮 右(他護守 ニ部及府 アル以對所 ルノ海兵 ヲ力上	同ヲ除指機交舞 ク指關通鎮 右(他護守 ニ部及府 アル以對所 ルノ海兵 ヲ力上	同下ニアルモ 右ノヲ
司令長官	司令長官	司令長官	司令長官	司令長官	
同	同	同	同	同	
右	右	右	右	右	

9890

5

陸		部	
海上護衛部	高雄警備府	海上護衛部	鎮海警備府
同除指機交高 ク權關通雄 右下保警備 ニ他護備 アル部及府 モノ陸對所 ノノ潛屬 ク作兵海 ク力上	同除指機交高 ク權關通雄 右下保警備 ニ他護備 アル部及府 モノ陸對所 ノノ潛屬 ク作兵海 ク力上	同除指機交鎮 ク權關通海 右下保警備 ニ他護備 アル部及府 モノ陸對所 ノノ潛屬 ク作兵海 ク力上	同除ク
官		長	
司令長官	高雄警備府	司令長官	鎮海警備府
同		同	
右		右	

二人員ノ現狀

司令部

(1) 主要職員官氏名

職	主務	官	氏名	記	事
司令長官		大將	及川古志郎	十五日親補	同日着任
參謀長		少將	島本久五郎	十五日補職	二十五日着任
參謀	首席	大佐	後藤光太郎	十五日補職	同日着任
同	作戰	中佐	大井篤	"	
同	職務	同	杉田敏三	"	
同兼副官	機關	同	坂上五郎	"	
參謀(兼)		同	由川周吉	"	
同		同	江口英二	"	
同		同	宮崎勳	"	

1880

7

Jp

日	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇
所在	東							京								
氣象																
一般任務	海軍上陸部 總司令部															
特別任務																
主要行動																
主要作業	海軍大學校ニ將旗揚 揚同校構内ニテ事務 ヲ開始															
記事	二三〇早苗第二五一 三三四〇早苗第二五一 ス一海ニ於テ沈没 ノ雷艇ヲ受ケテ沈没 陸ノ航行不能															
	〇四二〇若宮一七二 一〇四二〇若宮一七二 岸ニ於テ沈没 撃ヲ受ケテ沈没															
	福建省沿岸ニテ箱根丸 空襲ヲ受ケ															
	三宅第一海上護衛隊 第一海上護衛隊ノ作戦 指揮下ニ入ル															

四作戦経過概要

昭和十八年十一月

海上護衛總司令部

8880

8



Handwritten signature or name in seal script, possibly '長' (Chang).

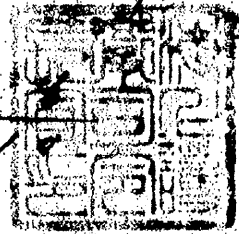
海護總機密第一五號ノ二

自昭和十八年十二月一日
至昭和十八年十二月三十一日

Handwritten vertical text: 九月

海上護衛總司令部戦時日誌

海上護衛總司令部



- 1 -

6880

9

目次

- 一、經過
 - 二、作戰指導
 - 三、人員ノ現狀
 - 四、令達報告等
 - 五、作戰經過概要
 - 六、參考
- (一) 本邦近海ニ於ケル十二月敵潛出現狀況
 - (二) 各護衛擔任部隊指定航路ト敵潛ニ依ル被害一覽圖
 - (三) 十二月分對潛戰概況
 - (四) 十二月分船舶被害並ニ戰果表
 - (五) 十二月分主要航路就航隻數調

(目次終)

一、經過

(イ) 敵情

敵ノ反攻ハ最近著シクナレト共ニ敵潛ノ跳梁ハ近來頓ニ激化セリ各方面ノ戰局ニ鑑ミ敵ハ今後我ガ海上交通遮斷ヲ一層重視シ更ニ熾烈大規模ナル交通破壊作戰ヲ實施スルノ氣配濃厚ナリ
大陸方面ノ敵空軍モ亦我ガ海上交通線ヲ窺視シツツアリ

(ロ) 我軍ノ情況

海上護衛總司令部設置後各鎮各警及海上護衛部隊ノ船團護衛方式並ニ對潛作戰方針一定セラレ統一セル作戰思想ノ下ニ着々効果ヲ發揮シ來リ十二月ニ於ケル被害ハ先月ニ比シ減少シ我ガ船舶ノ沈没一七・一七萬噸 損傷一二・八三萬噸 計三〇・〇〇萬噸ナリ又敵潛ニ與ヘタル損害ハ暨沈確實六隻効果甚大二隻ノ戰果ヲ收メタリ

(ハ) 任務、編制配備

(一) 任務 先月ニ同シ

(二) 兵力部署 (十二月十五日)

海 上 護 衛 部		隊		兵 力 及 機 關		指 揮 官		主 要 任 務	
海上護衛部隊	吳鎮守府	海上護衛部隊	橫須賀鎮守府	第一海上護衛隊 〔作戰指揮ノミ〕	第二海上護衛隊	第一海上護衛隊司令官	第二海上護衛隊司令官	一、擔任航路ノ海上交通保護	二、擔任區域ノ海上交通保護
同	右	同	右	第一海上護衛隊 〔第一驅逐隊(波風、沼風)〕	第二海上護衛隊 海鷹、雲鷹、大鷹、神鷹 〔千歲、十六驅逐〕	同	同	一、擔任區域及航路ノ海上交通保護	二、擔任區域ノ對潛防備
同	右	同	右	一、保護及對潛兵力機關(他部ヲ除ク)	二、作戰指揮ノ兵力及機關	同	同	三、擔任區域ノ對潛防備	四、部下及船舶ノ教育指導
同	右	同	右	一、保護及對潛兵力機關(他部ヲ除ク)	二、作戰指揮ノ兵力及機關	同	同	五、救難	

衛		總		部	
佐世保鎮守府 海上護衛部隊	舞鶴鎮守府 海上護衛部隊	大阪警備府 海上護衛部隊	大湊警備府 海上護衛部隊	佐世保鎮守府 海上護衛部隊	舞鶴鎮守府 海上護衛部隊
一、佐世保鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニケルモノヲ除ク） 右	一、舞鶴鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 右	一、大阪警備府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 右	一、大湊警備府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 右	一、佐世保鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニケルモノヲ除ク） 右	一、舞鶴鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 右
司令長官	司令長官	司令長官	司令長官	司令長官	司令長官
同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右

二、作戰指導

(イ) 海上護衛總部隊ノ今後ニ於ケル海上交通保護實施上ノ基準ヲ左ノ通明

示ス

(一) 海上交通保護計畫要綱（海護總機密第二四號ノ三）（別紙第一）

(二) 海上護衛總司令部海上護衛方針（海護總機密第二四號ノ一三）（別

紙第二）

(ロ) 海上交通保護對潛作戰指導ニ資スル爲總司令部内ニ左ノ機關ヲ設置ス

隊	
鎮海警備府 海上護衛部隊	高雄警備府 海上護衛部隊
一、鎮海警備府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右	一、高雄警備府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右
官	
鎮海警備府 司令長官	高雄警備府 司令長官
同 右	同 右

- (一) 情報調査部 (別表第一)
- (二) 教育部 (別表第二)
- (三) 支那東海ニ對スル敵潛ノ潛入阻止ノ爲左ノ方策ヲ計畫實施ス
- (四) 支那東海ニ普通機雷一二、〇〇〇個ヲ以テスル對潛機雷礁ノ構成
- (五) 南西諸島ノ航空基地ノ整備強化
- (六) 南西諸島電探網ノ構成
- (七) 同右ニ對スル防備衛所艦艇基地ノ増設整備
- (八) 九州南部至南西諸島方面敵潛跳梁撲滅ノ爲十二月十一日舞鎮ヨリ艦艇三隻及水偵四機、鎮警ヨリ艦攻四機ヲ佐鎮長官ノ指揮下ニ入ル
- (九) 敵潛徹底制壓及對潛避航ノ根本觀念ノ方針明示 (海護總機密第二〇二—三三番電)

9680

17

15

五、作戰經過概要

三	二	一	日	
京		東		所在
衛		上		任務
		將旗ヲ東京都霞ヶ關ニ移揚ス		主 要 作 業
千歳、第十六驅逐隊ヲ作戰ニ關シ當司令長官ノ指揮ヲ受ケシメラル				記 事

9680

16

七	六	五	四
東京			
部 令 司 總			

二	一〇	九	八
---	----	---	---

京

東

衛

護

上

海

8680

19

一五	一四	一三	一二
京		東	
部		令	司
總			
雲、海、大 九〇一海軍航空隊ヲ當司令部部隊 附屬部隊ニ編入セラル			

一九	一八	一七	一六
京		東	
衛 設 上 海			
		千歳、第十六團逐隊呉着 尋應「トラツク」着	
	<p>以後消息不明トナル</p> <p>發見せず</p> <p>經一八分ニ於テ敵潛水艦ヲ</p> <p>ケ航行中一三〇北緯二六度一三〇東</p> <p>照透艦沼風船國護衛高維發門司ニ向</p>		<p>高榮丸、新興丸ヲ作戰ニ關シ當司令</p> <p>長官ノ指揮ヲ受ケシタラル</p> <p>千歳、第十六團逐隊ヲ作戰ニ關シ島</p> <p>領守府司令長官ノ指揮下ニ入ル</p>

二 三	二 二	二 一	二 〇
--------	--------	--------	--------

東 京

總 司 命 部

<p>輸送打合會議</p>			
<p>神鷹、附屬部隊ニ編入セラル 驅逐艦天蓉、國護衛中本日〇九一五 北緯一四一二六東經一一九一五八ニ 於テ敵潛ノ雷撃ヲ受ケ沈没</p>	<p>海鷹、海鷹、大鷹（各艦共搭載機ヲ 除ク）輸送作戦ニ關シ聯合掃隊司令 長官ノ指揮ヲ受ケシメラル</p>	<p>哨二號、哨三十六號ヲ第一海上護衛 隊ヨリ除キ第二十二特別根據地隊ニ 編入セラル</p>	<p>大鷹橫濱整渠會社ニ於テ損傷修理</p>

二七	二六	二五	二四
東		東	
海		海	
		運航調整會議	海上交通保護並ニ對潛作戦ニ關スル 定例研究會雲鷹橫須賀ニ向ケ「トラ ック」發
			神鷹因島船渠ニ入渠

三一	三〇	二九	二八
----	----	----	----

京

東

部

令

司

總

神鷹吳着		雲鷹橫須賀着	
	神鷹因島第八船渠出渠		

8050

24

自昭和十九年一月一日
至昭和十九年一月三十一日

海上護衛總司令部臨時日誌

海上護衛總司令部

海護線機密第一五號ノ三

功績調査部長殿

6/10

19.9
佐

目次

- 一 經過
- 二 作戰指導
- 三 人員ノ現狀
- 四 令達報告等
- 五 作戰經過概要
- 六 參考
- (一) 本邦近海ニ於ケル一月敵出現狀況
- (二) 各護衛擔任部隊指定航路ト敵潛ニ依ル被害一覽圖
- (三) 一月分對潛戰概況
- (四) 一月分船舶被害竝ニ戰果表
- (五) 一月分主要航路航艦隻數調
- (六) 一月(十二月)敵潛出現狀況

(目次終)

一 經過

(1) 敵情

(一) 一時靜穩狀態ニアリシ中部太平洋方面ノ戰況モ下旬ニ入り敵ノ反攻俄然活潑化シ一月三十日敵有刀部隊「マーシャル」方面ニ來襲シ翌三十一日敵ハ「クエゼリン」「ブラウン」ニ上陸ヲ開始セリ

(二) 敵潛ハ大東亞海域全面的ニ出現シ特ニ中旬以降本州南岸「伊豆諸島熊野灘、豐後水道」南西諸島南支那海方面ニ熾烈ヲ極ムルニ至レリ

(三) 在支米空軍ノ活躍モ益活潑化シ臺灣海峡竝ニ南支那沿岸ニ出現船團ヲ襲撃シ或ハ高雄港口ニ磁氣磁雷敷設ノ舉ニ出テ來レリ

(四) 我が軍ノ情況

日本近海、南支那海敵潛蝟集海面ニ對シテハ護衛對潛兵力ノ重點的配備ヲ以テ強化シ主要航路ニ於ケル航空基地ニ對シテハ之ガ整備強化ヲ計リ尙重要船團ニハ航空母艦ヲ配シテ敵潛ノ襲滅掃蕩ノ徹底ヲ期スル外

海軍總司令部		第二海上護衛隊	第一海上護衛隊	指揮官	一 擔任航路ノ海上交通保護
護衛部	第二海上護衛隊	第一海上護衛隊	第一海上護衛隊司令官	二 敵潛艦滅	
附屬部隊	海軍總司令部	海軍總司令部	海軍總司令部	三 部下及船舶ノ教育指導	
	海軍總司令部	海軍總司令部	海軍總司令部		

(一) 任務、編制、配備

(二) 任務 先月ニ同ジ

(三) 兵力部署 (一月一日)

船團ニ對シテハ大幅ナル航路ノ變換回避艱難ヲ行ヒ又狀況ニ依リ運航ノ一時中止等ニ依リ被害ノ防止ニ努メタリ然レ共今月ノ被害ハ今迄ノ最高ヲ示スニ至リ即被害沈没三〇八六萬噸損傷一〇五八萬噸計四一。四四萬噸此ノ間ニ於ケル結果ハ擊沈艦隻七隻效果甚大六隻計十三隻ヲ擧ゲタリ

海 上 護 衛 總 隊		
佐世保鎮守府 海上護衛部隊	吳鎮守府 海上護衛部隊	横須賀鎮守府 海上護衛部隊
一、佐世保鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右	一、吳鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右	一、横須賀鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、作戦指揮ノ兵力及機關

海 上 護 衛 司		
佐世保鎮守府 司令長官	吳鎮守府 司令長官	横須賀鎮守府 司令長官
同 右	同 右	一、擔任區域及航路ノ海上交通保護 二、敵潛艦ノ對潛防備 三、艦隊ノ對潛防備 四、艦隊ノ對潛防備 五、救導難

隊		部	
大湊警備府 海上護衛部隊	大阪警備府 海上護衛部隊	舞鶴鎮守府 海上護衛部隊	舞鶴鎮守府所屬海上 交通保護及對潛兵力 機關（他部隊ノ作戦 指揮下ニアルモノヲ 除ク）
大湊警備府所屬海上 交通保護及對潛兵力 機關（他部隊ノ作戦 指揮下ニアルモノヲ 除ク）	大阪警備府所屬海上 交通保護及對潛兵力 機關（他部隊ノ作戦 指揮下ニアルモノヲ 除ク）	舞鶴鎮守府所屬海上 交通保護及對潛兵力 機關（他部隊ノ作戦 指揮下ニアルモノヲ 除ク）	同
司令長官	司令長官	司令長官	同
同	同	同	右

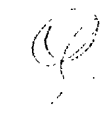
作戰指導

(一) 一月四日千歲及第十六驅逐隊ヲ第一海上護衛隊ニ編入シ高速石油船

團ノ護衛ニ任ゼシム

(二) 船團ノ間接護衛及外洋ニ於ケル敵艦ノ掃蕩擊滅ノ爲一月十日以後大

鎮海警備府 海上護衛部隊	高雄警備府 海上護衛部隊
一 鎮海警備府所屬海上 交通保護及對潛兵力 機關一他部隊ノ作戰 指揮下ニアルモノヲ 除ク 二 同 右	一 高雄警備府所屬海上 交通保護及對潛兵力 機關一他部隊ノ作戰 指揮下ニアルモノヲ 除ク 二 同 右
鎮海警備府 司令長官	高雄警備府 司令長官
同 右	同 右



村ニ墜攻四機、小祿ニ墜攻六機、東港ニ大艇三機ヲ進出セシム

自一月十二日中旬以降敵機ノ跳梁激化ノ傾向ニ對シ海諜總電令作第二十

四號ヲ以テ之ガ防衛手段竝ニ掃蕩法ヲ下令ス

(四) 一月十四日熊野灘方面及トラツク航路護衛強化ノ爲大阪警備府ニ舞鎮

ヨリ成生ヲ、第二海上護衛隊ニハ大湊警備府ヨリ石垣ヲ夫々増勢ス

(五) 海諜總電令作第三十三號ニ依リ海上護衛總部隊ノ護衛區分ヲ左ノ通定

ノ且ツ從來被害多カリシ吳「バラオ」航路ヲ「フ〇〇二」船團ヲ以テ

打切トシ之ヲ臺灣航路及臺灣「バラオ」航路ニ依ラシム

(イ) 東京臺北航路及東京灣西航路ハ横濱

(ロ) 「トラツク」航路及「トラツク」「バラオ」航路ハ第二海上護衛隊

(ハ) 其ノ他ノ航路「菲島航路」ヲ除クハ第一海上護衛隊

人員ノ狀況

(一) 司令部

七	六	五	四
京		東	
部	令	司	總
			<p>千歳及第十六 隊ヲ吳守府部 隊ヨリ除キ第一海上護衛隊ニ編入セ シム</p>

八	九	一〇	二
東		京	
海 上 護 衛			
<p>○八三〇海鷹、神鷹一電、警、海 雲、昭南ニ向ケ吳發 神鷹機械故障ノ爲石他鷹共佐伯ニ 假泊</p>	<p>第九〇一海鷹航空巡視 神鷹佐伯發吳ニ回航</p>	<p>海上交通保護並對港作戦定例研 究會</p>	<p>千歲及第十六艦隊「ヒ三一」船 團護衛一九〇〇豐後水道東口出撃 護衛關係通信研究會</p>
<p>大鷹横濱第一船渠ニ入渠</p>			

一五	一四	一三	一二
----	----	----	----

京 東

部 令 司 總

			海防備府部令 第一三〇〇佐任發
	海防備府部令 第一三〇〇佐任發		

海防備府部令ヨリ
除キ作戦ニ關シ第二海上護衛隊司
令官ノ指揮ヲ受ケシム

一九	一八	一七	一六
京		東	
衛		護 上 海	
<p>雲鷹一〇三〇北緯一二度五二分東 經一四六度二六分ニ於テ 方浸水機破使用可能 一サイパンニ向ケ目力(四節)航行 神鷹試運轉ノ爲吳發徳山假泊</p>	<p>雲鷹(能代、瑞鳳、若菜、初春、 早波)〇四三〇「トラック」發</p>		
			<p>驅逐艦天津風一九五五北緯一四度 四〇分東經一一三度五〇分ニ於テ 敵潛ノ雷撃ヲ受ケ航行不能トナル</p>

二〇	二一	二二	二三
----	----	----	----

東京

總司令部

<p>千歳及第十六隊沿革（缺天部編） 一五〇〇昭南着 一一三〇雲鷹初稿「ツイバン」着</p>	<p>一三〇〇海鷹（電、警）昭南着 神鷹徳山發吳ニ回航</p>	<p>東京海西航路調査作戦研究会</p>	<p>第十八戦隊（常盤、西貢丸）佐世保出陣機雷敷設後編ニ回航、</p>
<p>第十八隊ヲ編成當總司令部部隊ニ編入セラル 原日附通設ヲ作戦ニ關シ佐世保留守海軍司令部ノ指揮ヲ受ケキム</p>			<p>第十八戦隊司令部常盤ニ將旗ヲ掲</p>

9450

37

二七	二六	二五	二四
----	----	----	----

京 東

衛 護 上 海

	妻腰横須賀ニ向ケ「サイパン」發 (潮、曙、初霜、皇月) 千歳、雪風「ヒ三二」船團ヲ護衛 ○七三〇門司ニ向ケ昭南發		

38

8160

39



武部調査局長殿

海防練機密第一五號ノ四

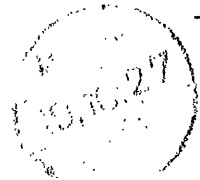
自昭和十九年二月一日

至昭和十九年二月二十九日

海上護衛總司令部戦時日誌

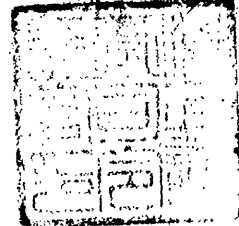
海上護衛總司令部

十月三十一日



6

10



6159

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令濤報告等

四 作戰經過概要

五 參考

(一) 總司令部主要職員寫真

(二) 本邦近海ニ於ケル二月敵潛出現狀況(圖)

(三) 各講衛擔任部隊指定航路ト敵潛ニ依ル被害一覽圖

(四) 二月分對潛戰概況

(五) 二月分船舶被害竝戰果表

(六) 二月分主要航路就航隻數調

(七) 敵潛出現狀況(表)

一 經 過
(1) 敵 情

内南洋方面ニ對スル敵ノ反攻ハ感々熾烈ヲ極メ我防衛要線ノ一角突破ニ全力ヲ注ギ大機動部隊ヲ以テ二月一日「マートンシャル」諸島ノ中核タル「クエゼリン」島ニ上陸ヲ開始其ノ後十五日ニハ「ニユーアイランド」外側ノ「グリーン」島ニ、二十八日ニハ「アドミラルテイ」諸島ニ攻略部隊ヲ上陸ヤシメタリ其ノ間敵ハ該方面ニ對スル我ガ輸送ノ遮斷ヲ目指シ潜水部隊ノ大部ヲ擧ゲテ「トラツク」及「トラツク」一ラバウル」航路ノ交通遮斷ニ全力ヲ注グト共ニ南西諸島臺灣方面ヲモ強化ヤリ尙之ト併行敵機動部隊ハ大擧二月十七日十八日「トラツク」ヲ奇襲二十一日二十三日二十四日「サイパン」「テナアン」方面ヲ急襲ヤリ又一方支那大陸ノ在支米空軍ハ積極的ニ臺灣海峽方面ニ出現シ十一日高雄港口ニ磁氣機雷ヲ敷設シ十九日ニハ基隆ノ北西二五哩迄進出シ來

リ船噸ヲ急襲ヤリ

(ロ) 我軍ノ情況

海上護衛並ニ對潛作戰強化ノ爲九〇一空ノ對潛專務大型機ヲ大村、馬尼刺、硫黃島ニ進出セシムル事共ニ「マリアナ」方面敵潛艇集ノ狀況ニ鑑ミカ〇一空大艇ノ一部及九三一空機攻ノ一部ヲ「サイパン」ニ進出セシメタリ又南西方面航路ノ完壁ヲ期スル爲高雄警備府ヲシテ臺灣海峡ニ普通機二二〇〇個ヲ以テ對潛機雷堰ヲ構成セシムルト共ニ重要船團ノ護衛強化ノ爲特設航空母艦神鷹海鷹ヲ護衛總司令部部隊ニ編入セシメタリ

然レ共前述ノ如ク敵潛ノ全力父迪破壊戰及敵機動部隊ノ「トラツツ」方面「サイパン」「テニアン」方面急襲ヲ受ケ遺憾ナガラ被害ハ開戦以來ノ最高ヲ示スニ至リ潜水艦ニ依ル被害五〇隻(二四・二カ萬噸)ノ依ル被害四六隻(二三・六三萬噸)觸雷二隻(一〇・六二萬噸)海難五

上海護衛總司		部
第一海上護衛隊	第二海上護衛隊	隊
第一海上護衛隊 (第一驅逐隊(波風)、 春風、鳩、燈、壹岐、哨三一、 掃一七、掃一八、哨三八、峯 風、第六玉丸、第三掃用丸)	第二海上護衛隊 (石垣)	兵力及機關
第一海上護衛隊司令官	第二海上護衛隊司令官	指揮官
一 擔任航路ノ海上交通保護 二 敵潛艦滅 三 指定海域ニ於ケル機雷 堰ノ構成 四 部下及船舶ノ教育指導 (第十八戰隊)		主要任務

(一) 任務、編制配備
 (二) 任務 先月ニ同ジ
 (三) 兵力部署(二月一日)
 又敵潛ニ與ヘタル損害ハ零沈確實一四隻效果甚大五隻ノ戦果ヲ收メタ
 隻一二。二六萬噸)計一〇三隻四九。八萬噸ヲ出スニ至レリ

8250

		令 部 部 隊	
		附 屬	
海上護衛部隊	吳鎮守府	海上護衛部隊	橫須賀鎮守府
同 右	吳鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク）	同 右	一 橫須賀鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戰指揮下ニアルモノヲ除ク） 二 作戰指揮ノ兵力及機關
同 右	同 右	大鷹、海鷲、雲鷹、神鷹 （千歲、第十六驅逐隊）二一七 復歸 第九〇一海軍航空隊 第九三一〇〃〃 第四五三〃〃 特設船舶警戒部 （呂一一三海軍水艦隊） （呂一一四〃〃）	同 右
司令長官	司令長官	司令長官	司令長官
同 右	同 右	同 右	同 右
同 右	同 右	同 右	同 右
同 右	同 右	同 右	同 右

<p>大湊警備府 海上護衛部隊</p>	<p>大阪警備府 海上護衛部隊</p>	<p>舞鶴鎮守府 海上護衛部隊</p>	<p>佐世保鎮守府 海上護衛部隊</p>
<p>一、大湊警備府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戦指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右</p>	<p>一、大阪警備府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戦指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右</p>	<p>一、舞鶴鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戦指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右</p>	<p>一、佐世保鎮守府所屬海上交通保護及對潛兵力機關（他部隊ノ作戦指揮下ニアルモノヲ除ク） 二、同 右</p>

<p>大湊警備府 司令長官</p>	<p>大阪警備府 司令長官</p>	<p>舞鶴鎮守府 司令長官</p>	<p>佐世保鎮守府 司令長官</p>
<p>同 右</p>	<p>同 右</p>	<p>同 右</p>	<p>同 右</p>

9350

(一) 内ハ作戰指揮下ニアルモノヲ示ス

二、作戰指導

(イ) 二月一日カ三一空在佐伯基地兵力ヲ作戰ニ關シ吳嶺長官ノ指揮ニ入ル
 (ロ) パラオ方面司令ヲ臺灣パラオ航路及パラオ北西航路ノ護衛ニ關シ一海
 護司令官ノ指揮ヲ受ケシム(二二日)

鎮海警備府 海上護衛部隊	高雄警備府 海上護衛部隊
一 鎮海警備府所屬海上交通保護 及對潛兵力機關(他部隊ノ作 戰指揮下ニアルモノヲ除ク) 二、同 右	一 高雄警備府所屬海上交通保護 及對潛兵力機關(他部隊ノ作 戰指揮下ニアルモノヲ除ク) 二、同 右
鎮海警備府 司令長官	高雄警備府 司令長官
同 右	同 右

(ハ) 東海黃海方面海上交通係護通信ニ關シテ該方面艦隊司令部ト協定ス

(ニ) 掃二五、二七ヲ左衛長官ノ指揮ヲ解キ橫濱海上護衛部隊ニ復歸ス

(一) 二月八日

(ホ) 二月十五日九〇一空兵力ヲ左ノ退進出セシム

大村 陸攻 三 大艇 三

東港 大艇 六

馬尼刺 陸攻 六 (一) 海軍司令部ノ指揮下

硫黃島 陸攻 六 (一) 橫濱長官ノ指揮下

鮮山基地 陸攻 三 大艇 三

(ニ) 高聲ヲシテ普通機雷二二〇〇個ヲ以テ臺灣海峡ノ對潛機雷艇ヲ構成セ

シム

(ト) 十カ日掃二三、第二七掃海隊ヲ橫濱ヨリ大艦海上護衛部隊ニ復歸ヤシ

ノ由利島、第八掃南丸、第六玉丸ヲ作戦ニ關シ吳鎮ヲ橫濱長官ノ作戦指揮下

ニ入ラシム

(イ) 神鷹、海鷹ヲ海上護衛司令部部隊ニ編入ス

(ロ) 二十五日波風ヲ一海護ヨリ石垣ヲ二海護ヨリ除キ大警ニ復歸セシム

(ハ) 二十五日カ(一)一空大艇二及九三一空艦攻四ヲ「サイパン」ニ派遣同方面ノ對潛作戰ヲ強化ス

(ニ) 二十九日「トラツク」航路ノ一員護衛擔任ヲ當分ノ間横領トシ二海護

ヲ右期間作戰ニ關シ横領長官ノ指揮下ニ入ル

人員ノ現状

(一) 司令部

(イ) 主要職員官氏名

職	主務	官	氏名	記事
司令長官		大將	及川古志郎	
參謀長	全	中將	岸福治	二十三日着任

我作戦經過概要

三	二	一	日 所在 任務
東			
衛 護 上 海			
<p>交通保護對潛作潛關係定例 研究會</p>		<p>敵攻略部隊「クエゼリン」島ニ 上陸開始</p>	<p>主 要 作 業</p>
		<p>侍從武官中村海軍中將ヲ當總司令部ニ 差遣ハサル 特設船舶鑿戒部及第九三一海軍航空隊 ヲ當部隊附屬部隊ニ編入セラル 九三一空佐伯基地兵力ヲ吳鎮長官ノ指 揮下ニ入ル</p>	<p>記 事</p>

6260 50

七 六 五 四

京

部 令 司 總

<p>千歳及第十六驅逐隊ニ對スル 當司令長官ノ作戰指揮ヲ解決</p>		<p>千歳及第十六驅逐隊ヲ第一海 上護衛隊ヨリ除ク</p>	

一	一〇	九	八
---	----	---	---

東

衛 護 上 海

<p>神鷹修理工事完了</p>			<p>雲鷹及警戒艦艇横須賀着</p>
	<p>峯風モタ〇二船團護衛中十日〇四三〇 北緯二三度二〇分東經一二一度三〇分 ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没</p>		<p>雲鷹聯合艦隊司令長官ノ作戰指揮ヲ解 カレ復歸當部隊附屬部隊ニ編入ス</p>

1880

一 五	一 四	一 三	一 二
京			
部 令 司 總			
<p>始 敵攻略部隊「グリーン」島ニ上陸開始</p>		<p>神鷹訓練ノ爲〇八〇〇廣島灣ニ向ケ 吳發一六〇〇吳歸着</p>	
<p>香取ヲ當總司令部部隊ニ編入セラル</p>			

一九	一八	一七	一六
----	----	----	----

東

海 上 護 衛

		敵機動部隊「トラツク」ニ來襲 (B六一八、A八、C一三、D一五)	
	神鷹ヲ附屬部隊ニ編入ス	香取第四驅逐隊(嵐、舞風)及赤城丸等ヲ率キ「トラツク」出撃直後同北口附近ニ於テ敵飛行機約二〇〇機ノ來襲ヲ受ケ大火災ヲ生ジ遂ニ沈没	

二 三	二 二	二 一	二 〇
京			
部 合 司 總			
警戒隊員ニ關スル打合	敵機動部隊「マリアナ」諸島ニ來襲	新海防艦ノ實用實驗打合	海鷹（電響）一〇〇〇 吳着輪送任務終了
			海鷹聯合艦隊司令長官ノ作戰指揮ヲ解 カレ復歸附屬部隊ニ編入ス 第四五三海軍航空隊ヲ當總司令部部隊 ニ附屬セラル 呂一四潜水艦作戰ニ關シ當司令部官ノ指揮ヲ 受ケシメラル同艦ヲ吳鎮守府海上護衛部隊 ニ編入ス

二七	二六	二五	二四
東			
海 上 護 衛 總			
	第九三一海軍航空隊巡視	船員教育ニ關スル打合	
		第一驅逐隊（波風）ヲ第一海上護衛隊司令官ノ又石垣ヲ第二海上護衛隊司令官ノ指揮ヲ解キ夫々大湊警備府司令長官ノ指揮下ニ復歸セシム	

二 九	二 八
京	
部 命 司	
	敵攻略部隊「アドミラルティ」ニ上陸開始
第二海上護衛隊ヲ當分ノ間作戦ニ關シ横須賀鎮守府司令長官ノ指揮下ニ入ル	

(終)